

事業案内

平成28年度(2016年度)事業報告
平成29年度(2017年度)事業計画



社会福祉法人
千葉いのちの電話

24時間年中無休
相談電話 043-227-3900

CONTENTS

| | |
|-----------------------------|----|
| ごあいさつ | 1 |
| 千葉いのちの電話の理念 | 2 |
| 平成28年度（2016年度）事業報告 | 3 |
| I. 相談事業報告 | |
| (1) 電話相談 | 4 |
| (2) 自死遺族支援 わかちあいの会「ひだまり」 | 8 |
| (3) 対面相談 ～こころの相談室～ | 9 |
| (4) インターネット相談 | 10 |
| II. 養成と研修 | 11 |
| III. 公開講演会・公開講座 | 12 |
| IV. 活動報告 | 13 |
| 平成28年度（2016年度）決算報告 | 17 |
| 平成29年度（2017年度）事業計画 会計予算書 | 20 |
| ボランティア相談員基礎研修講座の概要 | 21 |
| 千葉県いのちの電話協会 | 22 |
| 役員名簿 | 23 |
| 千葉いのちの電話役員名簿 | |
| 千葉県いのちの電話協会役員名簿 | |
| 研修専門家会名簿 | |
| ご支援のお願い | |

ごあいさつ



社会福祉法人 千葉いのちの電話

理事長 友田 直人

平成28年度も幅広い県民の皆様のご支援を賜り、ここに千葉いのちの電話の事業報告並びに平成29年度事業計画を報告できますことを深く感謝申し上げます。

1989年に日本の自殺者が3万人を超え、その後も増え続けるという状況の中、2006年に自殺対策基本法が制定され、10年を迎え、自殺者は減少傾向にあり、これは行政・各関係機関・地域における自殺防止に向けた努力が実りつつあるとも言えます。又、2016年4月には、自殺対策基本法が改正され、自殺対策を生きることへの包括支援と位置づけております。当時は多重債務などの社会的な要因に関連した中高年の自殺が主でしたが、現在は若年層の自殺が増えており、地域全体で早期に対応が必要であり、我々のいのちの電話としても、この課題には、電話相談を含め、自死遺族支援・対面相談・インターネット相談、4つの相談手段の多様化にも取り組み活動に努めてきました。

さて、28年度事業を振り返りますと、いのちの電話の基本的働きである、ボランティアによる自殺予防の電話相談は365日24時間休むことなく、ボランティアの皆様のご誠実な奉仕により支えられ、孤独の中にあるかけがえのない命と向き合い、小さな力ではありますが継続した活動を展開しました。

相談ボランティアの養成と資質向上のため、研修体制の見直しが行われ、専門家・理事・ボランティア研修担当・事務局の代表が研修委員会のメンバーになり、4つの相談事業をトータルに考え、時代の要請に対応できることを目指す中で、今後ますます地域の関係機関とも連携を強化し、一層の充実を図る所存です。

認定式の記念講演では斎藤友紀雄先生に「ボランティアの心 改めて問う」というテーマで講演を頂き、いのちの電話の基本理念である「ボランティア精神」その原点を常に忘れることのない謙虚な姿勢、良き隣人として寄り添える私たちを確立し、又、組織としてはどのような援助の手を差し伸べられるか、絶えず問いかけ活動していきたいと考えております。

社会的期待が広まる一方で、全国的に相談員の減少につきましては、危機感を持ってはありますが、今後は県民の方々に関心を持って頂ける、広報活動にも積極的に取り組んでいきます。

活動が円滑に維持できるのも、千葉県いのちの電話協会をはじめ県民の皆様のご支援があってと心よりお礼申し上げます。皆様のご支援の結集として会館が建設され、活動拠点があることで、活動範囲・方法が充実されておりますが、施工され10年を迎え、これからはメンテナンスの費用も必要になり、運営資金確保と共に募金活動を鋭意推進いたします。

末尾となりましたが、引き続き千葉いのちの電話に対するご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

千葉いのちの電話の理念

千葉いのちの電話はかかわりを求め、なんとか対処しようと苦悩している人たちに「私たちがここにいるよ」と表明し、寄り添いかかわりを求められる存在でありたいと望んでいます。そのために傾聴を基本の姿勢として、時には自殺まで慮うほどの精神的危機にある人に寄り添い、対等な人間としてかかわりを持ち支え合う相談活動をしています。また、使命の大きな柱である自殺予防のため、裾野の広い自殺予防活動を行います。

相談援助活動の4本の柱

電話相談

043-227-3900
24時間365日
年中無休

わかちあいの会
-自殺遺族支援-

対面相談
-こころの相談室-

インターネット
相談

◆ 千葉いのちの電話の歩み

- | | | | |
|-------------------------------|---------------------|-----------------------|-------------|
| ・ 設立準備委員会発足 | 1988年 1月 | ・ インターネット相談開始 | 2008年 7月 |
| ・ 千葉いのちの電話開局 | 1989年10月 1日 | ・ 対面相談開始 | 2009年 4月 |
| ・ 千葉県いのちの電話協会発足 | 1990年10月20日 | ・ 千葉日報社会福祉賞受賞 | 2009年11月 |
| ・ 社会福祉法人設立認可 | 1993年12月28日 | ・ 社会貢献者表彰 | 2010年10月 |
| ・ 第22回いのちの電話相談員全国研修千葉大会 | | ・ 「震災ダイヤル」参加 | 2011年 3月 |
| ・ 第10回アジア太平洋地域電話カウンセリング国際会議開催 | 2001年 6月13日 ～16日 | ・ 「ナビダイヤル」参加 | 2013年 3月 |
| ・ 千葉市社会福祉功労表彰 | 2005年10月 | ・ 千葉県社会福祉賞受賞 | 2013年12月25日 |
| ・ 自殺遺族支援「わかちあいの会ひだまり」を開始 | 2006年11月 | ・ 厚生労働大臣表彰 | 2014年 9月27日 |
| ・ 新会館（CIDビル）に移転 | 2007年 6月 1日 | ・ 開局25周年記念式典 | 2014年10月 1日 |
| | | ・ 千葉県いのちの電話協会25周年記念式典 | 2015年 9月30日 |

社会福祉法人 千葉いのちの電話 概況

(2017年4月1日現在)

【設 立】1989年10月 1日

【法人認可】1993年12月28日

【組 織】理事：10名 監事：2名 評議員：23名 後援会役員：26名 監事：1名

【認定者累計】1,146名 【実動相談員数】200名 【活動ボランティア数】29名

平成28年度（2016年度）事業報告

（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

福祉サービスの提供として精神的危機等に直面し、援助と励ましを求めている人々と、主に電話という手段で対話し、健全な社会人として生活することができるよう援助し、その他にこれに関連するサービスを提供し、もって社会福祉の増進に寄与することを目的として、次の社会福祉事業を行う。

定款（目的）第1条

皆様の温かいご理解とご支援のおかげで、千葉いのちの電話は開局27年を迎えました。自殺者は減少しておりますが、今なお2万人以上の方が尊い命を絶たれているという事実は胸の痛む状況です。千葉県では1,038人の方が亡くなり、中でも若い世代の自殺が深刻化しており、これからも社会的サポートが必要といえます。

自殺対策基本法が改正され、社会状況の変化を踏まえた更なる推進が謳われており、自殺予防のボランティア団体として担う役割が重要になっております。

4月より所轄庁が千葉県より千葉市に移行され、社会福祉法人としての監査も千葉市の指導を受けました。又、社会福祉法人制度改革に基づき組織の在り方を見直し、ガバナンスの強化に取り組む定款の変更も進めました。

自分たちの守備範囲、有効性と限界の中で、より広い県民運動として、さまざまな分野の関係機関・団体・専門家との連携を持ち、電話相談・自死遺族支援・対面相談・インターネット相談の4つの相談活動に取り組み、生きることの包括的な支援として、相互に対等な関わりとして尊重され、誠実に人と向き合えるように相談員の養成・資質向上を目指し研鑽に努めてきました。

県民を対象とする公開講演会についても、自殺対策が市町村の窓口の主軸が移り、これまでとは異なった各地域で、タイムリーな視点で身近な問題等について、専門家にわかりやすく講演を頂き、多くの地域の皆さんに参加頂き自殺予防の普及啓発にも寄与してきました。

全国で活動している48センターと共に、厚生労働省の補助を受け「毎月10日」のフリーダイヤルによる電話相談事業も16年目になり、これまでの経験を生かし、定着した活動になっております。

相談員の減少もあり、24時間365日の活動を維持するための相談員の確保に苦慮することもあります、「私たちがここにいるよ」と表明し、寄り添いかかわりを求められる存在でありたいと望み、一日も休むことなく活動を続けてこられました。こうした活動が可能になるのも、千葉県いのちの電話協会をはじめ、県民の皆様・行政からのご支援ご指導下さったことで心から感謝し、計画した活動を滞りなく進めることができ、ここに一年間の事業報告を申し上げます。

I 相談事業報告

(1) 電話相談 (2016年1月～12月)

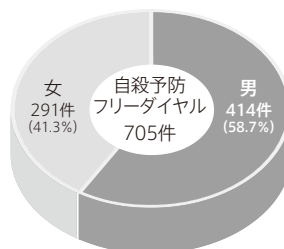
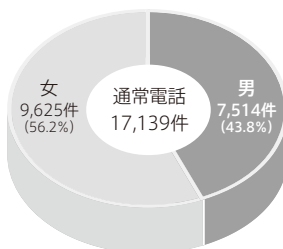
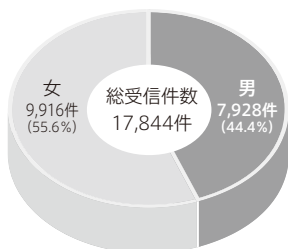
自殺予防フリーダイヤル (毎月10日実施)

2016年1月から12月までの送受信数は17,844件、1日平均48.8件で昨年より167件(1日平均0.5件)増えました。男性7,928件(44.4%)女性9,916件(55.6%)で、昨年比男性241件増、女性は74件減となっています。全体の48.43%延べ8,641人の方が精神疾患があると訴えています。受信中に話さない方を含めると、精神の疾患を抱える方は5割をゆうに超えていると推測します。

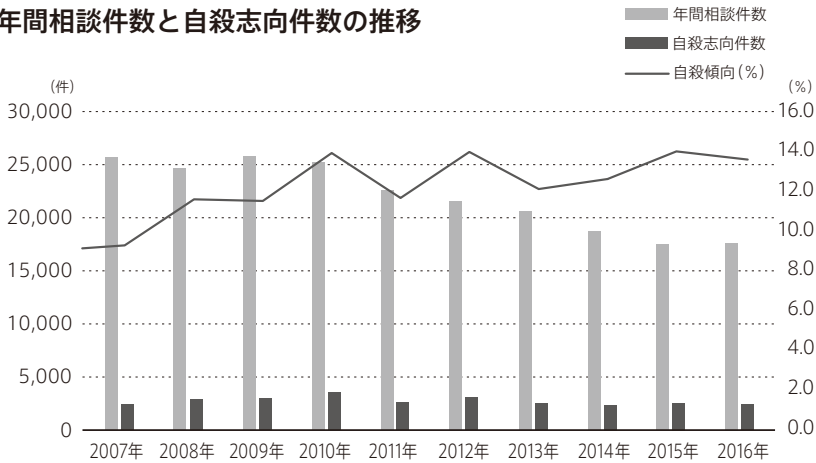
フリーダイヤルは、毎月10日の午前8時から11日午前8時までの24時間で、年間12回です。総数705件、男性414件(58.7%)女性291件(41.3%)で男性が6割近くになります。この日を待って一日中かける依存的な人も増えていて、対応の難しさも感じています。2016年度総受信件数に対する自殺傾向は、13.8%で昨年の14.6%から若干下がりました。フリーダイヤルの日は、33.5%に自殺傾向がみられ危機的傾向が続いています。自殺傾向とは、自殺念慮(自殺願望が日常的にある)、危険、自殺の予告・通告、実行中などに当てはまるものを言いますが、自殺実行中の受信が男性5件、女性8件ありました。昨年の5件を大きく上回っています。死ぬことを心に決めて行動に移す中にも、だれかと繋がりたいという思いが伝わってきます。相談員に緊張が走りますが、行動をとどまってもらい、ゆっくりと話を聞いていくと、たいていの方がいったん落ち着きを取り戻し、次に死にたくなかった時には必ずかかるまで電話をする約束をしてくれます。しかし時には突然プツンと電話を切ってしまう方もいて、そのような時相談員は、なにもできない思いで胸がいっぱいになります。電話の限界を強く感じる時でもあります。

| | 【受信記録】 2016. 1～2016.12 | 【累 計】 1989.10～2016.12 |
|-------|------------------------|-----------------------|
| 総受信件数 | 17,844 件 | 613,788 件 |
| 1日平均 | 48.8 件 | |
| 男 | 7,928 件 (44.4%) | 270,350 件 (44.0%) |
| 女 | 9,916 件 (55.6%) | 341,394 件 (55.6%) |
| 不 明 | 0 件 (0.0%) | 2,044 件 (0.4%) |

受信件数

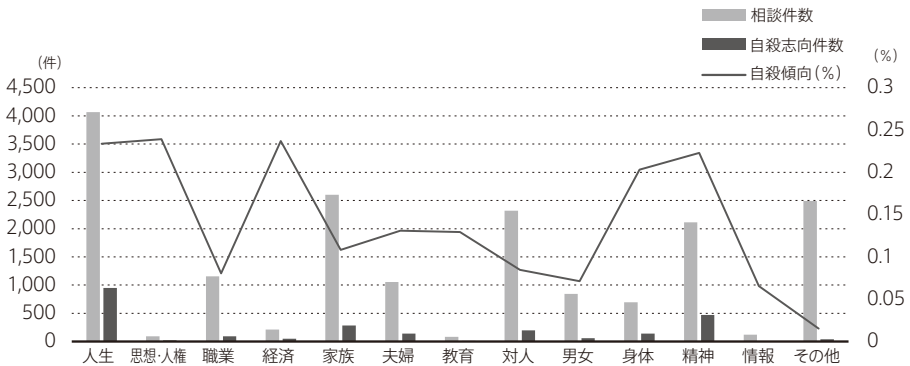


◆ 年間相談件数と自殺志向件数の推移



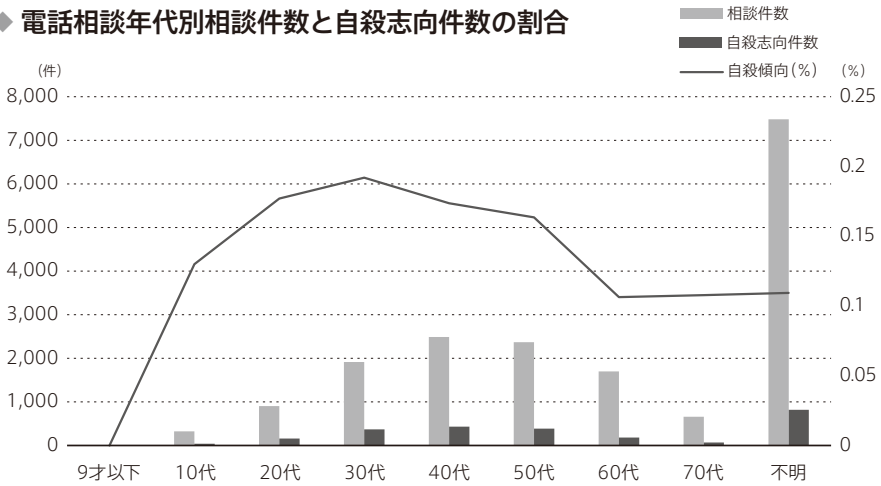
| 年度 | 2007年 | 2008年 | 2009年 | 2010年 | 2011年 | 2012年 | 2013年 | 2014年 | 2015年 | 2016年 |
|----------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 年間相談件数 | 25,656 | 24,652 | 25,743 | 25,184 | 22,565 | 21,557 | 20,604 | 18,693 | 17,677 | 17,844 |
| 自殺志向件数 | 2,378 | 2,854 | 2,964 | 3,502 | 2,629 | 3,013 | 2,495 | 2,357 | 2,581 | 2,460 |
| 自殺傾向 (%) | 9.3% | 11.6% | 11.5% | 14.0% | 11.7% | 14.0% | 12.1% | 12.6% | 14.6% | 13.8% |

◆ 電話相談内容別相談件数と自殺志向件数の割合



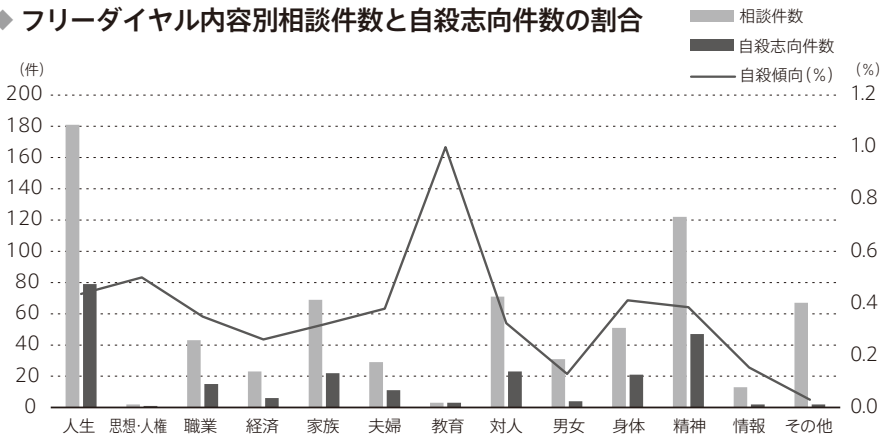
| 項目 | 人生 | 思想・人権 | 職業 | 経済 | 家族 | 夫婦 | 教育 | 対人 | 男女 | 身体 | 精神 | 情報 | その他 | 合計 |
|----------|-------|-------|-------|-----|-------|-------|-----|-------|-----|-----|-------|-----|-------|--------|
| 相談件数 | 4,065 | 92 | 1,156 | 211 | 2,602 | 1,053 | 85 | 2,317 | 843 | 694 | 2,114 | 122 | 2,490 | 17,844 |
| 自殺志向件数 | 950 | 22 | 93 | 50 | 282 | 138 | 11 | 196 | 60 | 141 | 471 | 8 | 38 | 2,460 |
| 自殺傾向 (%) | 23% | 24% | 8% | 24% | 11% | 13% | 13% | 8% | 7% | 20% | 22% | 7% | 2% | 13.8% |

◆ 電話相談年代別相談件数と自殺志向件数の割合



| 項目 | 9歳以下 | 10代 | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 | 70代以上 | 不明 | 合計 |
|----------|------|-----|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|
| 相談件数 | 1 | 323 | 904 | 1,917 | 2,487 | 2,368 | 1,701 | 659 | 7,484 | 17,844 |
| 自殺志向件数 | 0 | 42 | 160 | 368 | 432 | 387 | 181 | 71 | 819 | 2,460 |
| 自殺傾向 (%) | 0% | 13% | 18% | 19% | 17% | 16% | 11% | 11% | 11% | 13.8% |

◆ フリーダイヤル内容別相談件数と自殺志向件数の割合



| 項目 | 人生 | 思想・人権 | 職業 | 経済 | 家族 | 夫婦 | 教育 | 対人 | 男女 | 身体 | 精神 | 情報 | その他 | 合計 |
|----------|-----|-------|-----|-----|-----|-----|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 相談件数 | 181 | 2 | 43 | 23 | 69 | 29 | 3 | 71 | 31 | 51 | 122 | 13 | 67 | 705 |
| 自殺志向件数 | 79 | 1 | 15 | 6 | 22 | 11 | 3 | 23 | 4 | 21 | 47 | 2 | 2 | 236 |
| 自殺傾向 (%) | 44% | 50% | 35% | 26% | 32% | 38% | 100% | 32% | 13% | 41% | 39% | 15% | 3% | 33% |



電話相談の中から



電話相談

30代 男性

10年前にビルの3階から発作的に飛び降り、強制入院させられた。それ以来何度か自殺未遂を繰り返している。ひとり暮らしでいつも孤独。どうしようもない不安に襲われ、大量に薬を飲む。リストカットをして、死にたいかどうかを確かめる。電話がつながると少しほっとする。



フリーダイヤル

60代 女性

認知症の母と2人暮らし。
目が離せなくなり、心身ともに疲れてしまった。頼れる身内はいない。人の世話にはなりたくない。食欲もなく、夜も眠れない。ふと2人で死ぬことを考えてしまう。

電話相談員を続けて

夜は眠れない方からの電話が多くかかってきます。

「リストカットをした」「発作的に薬を大量に飲んだ」「失業して苦しい、死んでしまいたい」など直接的な訴えは様々ですが、深い孤独と死への思いが伝わってきます。

相談員になって20年を超え、深夜の担当がだんだんきつくなってきているのですが、沈んでいたかけ手の声が少しずつ明るくなるのを聴くと、もう少し頑張ろうかな、と思います。



※ 内容は電話相談に基づいて編集しています

(2) 自死遺族支援 わかちあいの会「ひだまり」(2016年4月～2017年3月)

遺された方たちの悲しみに寄り添い、わかちあう事によって、自死遺族の方たちが逝ってしまった方と向き合い、互いに支え合い、再び生きなおして行くことの出来る力を賦活する場として、わかちあいの会ひだまりを県内3箇所で開催した。

今年度、柏市の協力で柏駅近くのアミュゼ柏に会場が移った。交通の便が良くなったことから、毎回十数名の参加がある。初参加の人数も多く、分かち合いの場を望む遺族の期待に応えられるよう誠実にかかわっている。

印旛会場では、人数は少ないながらも平日だから参加できる方もいて、ゆっくりと語り合う時間となっている。また、千葉会場の周知につとめたが、利用しやすい会場を望む遺族の声もあり、4月から会場をきぼーる11階の会議室に変更する予定である。

◆ ひだまり参加人数(※茶話会)

| 年度 | 開催回数 | 会場別参加数(人) | | | | | | 参加内訳(人) | | |
|-------------|--------------|--------------|-----|--------------|----|----|----|--------------|---------------|---------------|
| | | 千葉 | 習志野 | 柏 | 君津 | 印旛 | 浦安 | 男 | 女 | 計 |
| 2006年～2015年 | 239 (13※) | 270 (69※) | 15 | 165 (40※) | 8 | 58 | 2 | 274 (35※) | 505 (92※) | 779 (127※) |
| 2016年 | 24 (4※) | 30 (12※) | / | 77 (22※) | / | 19 | / | 37 (5※) | 89 (29※) | 126 (34※) |
| 計 | 263 | 300 (81※) | 15 | 242 (62※) | 8 | 77 | 2 | 311 (40※) | 594 (121※) | 905 (161※) |

◆ 亡くなった方との関係(※複数死別あり)

| 年度 | 子供 | 親 | 兄弟 | 伴侶恋人 | その他 | 計 |
|-------------|-----|-----|----|------|-----|-----|
| 2006年～2015年 | 279 | 175 | 42 | 91 | 34 | 621 |
| 2016年 | 104 | 33 | 11 | 12 | 2 | 162 |
| 計 | 383 | 208 | 53 | 103 | 36 | 783 |

◆ わかちあいの会・茶話会

| 地区 | 開催数 | 参加数 | | 計 |
|-------|-----|-----|-----|-----|
| | | 男 | 女 | |
| 千葉 | 12 | 11 | 19 | 30 |
| 柏 | 6 | 23 | 54 | 77 |
| 印旛 | 6 | 3 | 16 | 19 |
| 小計 | 24 | 37 | 89 | 126 |
| 茶話会柏 | 2 | 4 | 18 | 22 |
| 茶話会千葉 | 2 | 1 | 11 | 12 |
| 小計 | 4 | 5 | 29 | 34 |
| 合計 | 28 | 42 | 118 | 160 |

◆ 亡くなった方との関係(複数死別あり)

| 地区 | 子供 | 親 | 兄弟 | 伴侶他 | その他 | 計 |
|----|----|----|----|-----|-----|-----|
| 千葉 | 12 | 12 | 3 | 3 | 1 | 31 |
| 柏 | 57 | 11 | 6 | 4 | 1 | 79 |
| 印旛 | 12 | 3 | | 4 | | 19 |
| 計 | 81 | 26 | 9 | 11 | 2 | 129 |

※茶話会は含まない

(3) 対面相談 ～こころの相談室～

2016年度は「自殺予防」というミッションステートメント（社会的使命）を実現するための具体的な第一歩として、当日受付を始めることが決まりました。『止むにやまれず、今日、いま、この辛い気持ちを聴いて欲しい、分かってくれる人が欲しい、あるがままの自分を受け止めて欲しい』という声をよく聞きます。私たち対面相談員はそのような来談者の傍らに座り、来談者自らが持っている生きる力を信じて寄り添い、かけがえのない命といのちのつながりを創っていきたくと想います。2017年度は相談員が14名に増え、4/1より全土曜日の受付が始まりました。自己研鑽を積み、より多くの方々のよりどころとなる場所にいたします。

◆ 対面相談実施56名

(女性:44名 男性:12名) 延べ相談実施回数133回

◆ 対面相談総数

| 年度 | 来談者(人) | 女性 | 男性 |
|-------------|--------|-----|----|
| 2009年～2015年 | 188 | 149 | 39 |
| 2016年 | 56 | 44 | 12 |
| 計 | 244 | 193 | 51 |

| 年代別 | 女 | 男 | 内容 | 件 | 情報源 | 件 |
|-----|----|----|----|----|--------|----|
| 20代 | 3 | | 人生 | 21 | 地域新聞 | 37 |
| 30代 | | 1 | 職業 | 3 | ホームページ | 5 |
| 40代 | 4 | 6 | 家族 | 18 | 広報誌 | 6 |
| 50代 | 20 | 2 | 夫婦 | 3 | 電話相談 | 6 |
| 60代 | 11 | 2 | 対人 | 2 | 知人紹介 | |
| 70代 | 6 | 1 | 精神 | 6 | ポスター | 2 |
| | | | 経済 | 3 | | |
| 計 | 44 | 12 | | 56 | | 56 |

◆ 自死遺族個人対面相談（印旛）対面実施 8名（女性）

| 年代 | 人数 | 内容 | 人数 | 情報源 | 人数 |
|-----|----|------|----|-------|----|
| 30代 | 1 | 自死遺族 | 8 | 佐倉市広報 | 8 |
| 60代 | 7 | | | | |

対面相談室から

相談者は、子供さんの対応について対面相談を申し込まれました。

継続して来談されて、子供と自身の関係話すことで、子供にも問題はありますが、自分の関わりにも問題があったのではないかと、ということに気づき、相談は継続されています。対面相談の特徴である、『継続して関わる』ということで、相談者が変容してゆく過程に相談員は共にいます。そのためにも、一層の研鑽が求められています。



(4) インターネット相談

(2016年4月～2017年3月)

今年初頭からのシステムの不具合により受信できない時期があり、受信数が激減したが、前年の8割までに回復した。相談者の年代は20代が最も多く30代、40代がこれに続いている。また、地域別でも千葉県在住が大半である。この傾向は変わっていない。1件について3往復できるメール相談を始めて4年経過した。2～3往復できたものが約半分弱であった。相談内容別では、内容が非常に多岐にわたっている。その内でも人生に分類されるものが最も多く、精神がこれに続いている。また、家族や人間関係に関わるものも多い。これらに分類される場合でも、精神疾患や発達障害などが背景にある悩みや苦しみではないかと推測されるものもある。これらのことから、更に幅広い学びの必要性を痛感させられている。また自殺傾向からみると、念慮、危険、予告と合わせると全体の37%になる。このことから、現在返信活動は週1回であるが、もっと早く返信できるように体制を整える必要性も感じている。

新年度からは、連盟主管のネット相談が開始されるとのことで、その研修も始まった。今年は5名(内新人3名)がその研修に参加し、少しずつではあるが、移行への検討をはじめたところである。私たちの積み上げてきたやり方の良さも活かしながら、もっと相談者の側近くにあるネット相談を模索していきたいと考えている。

<2016年度千葉いのちの電話インターネット相談受信統計>

■ インターネット受信数と男女別

| 年 度 | 相談総数 | 男 | 女 | 不明 |
|-------|------|----|-----|----|
| 2016年 | 180 | 53 | 110 | 17 |

■ 年代別受信数

| 年 代 | 9才以下 | 10才 | 20才 | 30才 | 40才 | 50才 | 60才 | 70才以上 | 不明 | 合計 |
|-----|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|----|-----|
| 人数 | 0 | 4 | 66 | 44 | 35 | 10 | 0 | 0 | 21 | 180 |

■ 地域別受信数

| | | |
|---------|--------|-------|
| 千葉県：144 | その他：14 | 不明：22 |
|---------|--------|-------|

■ 相談回数別

| | | |
|--------|--------|--------|
| 1往復：96 | 2往復：52 | 3往復：32 |
|--------|--------|--------|

■ 相談内容別件数

| 内容分野 | 人生 | 経済・社会 | 家族・家庭 | 人間関係 | 保健・医療 | その他 |
|------|-------|-------|----------|-------|-------|-----|
| 大項目 | 人生/人権 | 職業/経済 | 家族/夫婦/教育 | 対人/男女 | 身体/精神 | 情報他 |
| 相談数 | 62 | 12 | 33 | 31 | 36 | 6 |

■ 自殺志向件数

| なし | 念慮 | 危険 | 予告 | 実行中 | 不明 |
|----|----|----|----|-----|----|
| 61 | 57 | 9 | 1 | 0 | 52 |

Ⅱ 養成と研修

4 相談援助活動の円滑な運営と充実のため、相談員の養成と資質向上に努めました。

(1) 相談員養成

(講師：勝山修一郎氏・亀井雄一氏・木村登紀子氏・佐藤俊一氏・白崎けい子氏・深見悟郎氏・未松 渉氏・西浦加代子氏・花崎みさを氏・藤井忠幸氏・松本和子氏・米村美奈氏)

① 第29期養成 事前説明会 (7/23、8/3、8/6、8/26)

第Ⅰ課程：講義 (10/8～11/12) グループ面接 (9/4)
宿泊研修 (11/19～20) メイプルイン幕張

第Ⅱ課程：講義・ワーク (12/12～3月)

第Ⅲ課程：(3月～)

② 第28期養成 第Ⅲ課程：講義・グループワーク (3～7月)

第Ⅳ課程：(8～2月) 認定面接

認定：(3/25) 認定者22名

③ 相談ボランティア養成 インターネット相談：認定者3名 対面相談：認定者6名

(2) 電話相談研修 (1期生～26期生)

継続研修 毎月1回 (4月～2月) 16グループ (うち2回は専門家による研修)

(講師：赤須知明氏・鉦鹿健吉氏・勝山修一郎氏・木村登紀子氏・未松 渉氏・西浦加代子氏・福山清蔵氏・山本多賀子氏)

(3) 自死遺族支援相談研修

フォローアップ研修 (6回) 講師：藤井忠幸氏

ブラッシュアップ研修 講師：山本多賀子氏

4・5期スーパーバイズ 講師：藤井忠幸氏

(4) 対面相談研修

8期養成 (11回) 継続研修 (11回) 講師：勝山修一郎氏

グループ・個人スーパーバイズ 講師：勝山修一郎氏

(5) インターネット相談研修

フォローアップ研修 (9回)

講師：田村 毅氏・矢永由里子氏・風間洋子氏・日下忠文氏・松尾公孝氏・石川真紀氏・西川一臣氏

(6) 事例検討研修会 (講師：西浦加代子氏)

第1回 (7/4) 参加者22名 第2回 (1/13) 参加者24名 第3回 (3/27) 参加者14名

(7) フリーダイヤル研修 (厚生労働省補助事業)

講師：永原伸彦氏 (10/30) 参加者31名

(8) 外部研修

① 自死遺族ケア団体全国ネットサポーター研修 (10/2) 4名参加

② 自死遺族ケア団体全国ネットスタッフ研修 (2/2) 2名参加

③ 自死遺族支援事業実施センター合同研修会 (担当センター) (12/22) 13名参加

Ⅲ 公開講演会・公開講座

地域社会への心の健康増進、ならびに千葉いのちの電話の相談援助活動の周知を促し、ご支援を頂くための活動を推進しました。

(1) 第21回自死遺族支援公開講演会（柏市共催）

9月3日 ウエルネス柏 参加者57名
悲しみの淵から「悲しみを支えるとは何でしょうか」
一緒に考えていきましょう
講師：若林一美氏（立教女学院短期大学学長）



樋野興夫氏

(2) 公開講演会（厚生労働省補助事業）

1月29日 プラザ菜の花ホテル 参加者125名
「小さなことに大きな愛を込めて癌哲学外来より」
講師：樋野興夫氏（順天堂大学病理腫瘍学教授）

(3) 県民講座（共同募金会助成事業）

その悩みひとりで抱えていませんか？

第1回 11月6日 CIDビル 参加者62名
講師：大賀四郎氏（千葉県精神障害者
家族会連合会 副理事長・かぶら
ぎ会会長）
「～精神障害者とその家族を支え
るには～」



県民講座風景

第2回 11月27日 館山市コミュニティセンター 参加者42名
第1部 講師：下園壮太氏（NPOメンタルレスキュー
協会理事長）
「身近にある“うつ”」
第2部 講師：浪花久美子氏（館山市健康福祉部社会
福祉課長）
「安房地域の自殺対策と支援」
「館山市の自殺対策」



吉井稔氏

第3回 12月4日 CIDビル 参加者46名
講師：吉井 稔氏（中核地域生活支援センターさん
ぶエリアネット・生活困窮者自立相談支援
事業くらしサポート統括施設長）
「困ったとき……身近にある支援～」

第4回 1月15日 市原市サンプラザ市原多目室 参加者43名
講師：水鳥川洋子氏（千葉県若人自立支援機構
専務理事・元千葉県中央児童相談所所長）
「児童虐待と現代の子供たち～」



水鳥川洋子氏

(4) 講演 ～知る・学ぶ・つながる・相談する～

第29期千葉いのちの電話ボランティア相談員募集 事前説明会

- 第1回 7月23日 CIDビル「聞く」と「聴く」カウンセリング入門
講師：勝山修一郎氏（千葉カウンセリングセンター 所長）
- 第2回 8月3日 CIDビル「聞く」と「聴く」カウンセリング入門
講師：勝山修一郎氏
- 第3回 8月6日 船橋市中央公民館「これってDV？」
講師：松本和子氏（NPO法人女性ネットSaya-Saya 代表）
- 第4回 8月26日 千葉県印旛合同庁舎「これってDV？」
講師：松本和子氏

IV 活動報告

1. 理事会・評議員会の開催 5/16 11/7 3/16

主な議案 平成27年度事業報告・決算報告・定款変更・評議員選任 解任委員会 委員選任・
評議員の選任・平成29年度事業計画・予算



理事会



評議員会

2. 千葉市社会福祉法人等監査 2/6

3. 千葉いのちの電話ボランティアの集い（新運営懇談会）の開催

7/18 講演：後庵正治氏 参加者46名
「ボランティアの心 パートII 私にとっていのちの電話とは」

4. 認定証交付式

3/25 28期電話相談員認定者 22名
8期対面相談員認定者 6名
6期インターネット相談員 3名
記念講演「ボランティアの心」改めて問う 斎藤友紀雄氏



認定証交付式



交流会

5. 部会・委員会活動

(1) 合同部会

平成29年度事業計画・予算についての検討
理事会・評議員会への提出議案の検討

(2) 総務部会

千葉いのちの電話ボランティアの集いの開催
新運営懇談会(月1回)の開催
28期認定証交付式主管(3/25)
平成29年度事業計画・予算の主管

(3) 企画調整部会

28期基礎研修講座の主管
県民講座の主管

(4) 研修委員会

(5/11・10/26・3/14)
研修委員会再構築についての説明会 理事 三橋和弘氏
(4/18・4/24・4/27・6/6・6/11)
相談員判定・認定システムの検討
ネット相談判定 次年度の講師について
研修担当者7期養成について
相談員の休務・復務のルール化について
30期養成基礎研修カリキュラム計画・シラバス見直し検討
30期募集案内の作成について

(5) 研修ボランティア部会

29期養成研修担当
30期養成研修カリキュラム計画・シラバス見直し検討
研修担当者7期養成について

(6) 研修担当委員会

継続研修16グループ(1~26期)年2回専門家による研修
研修担当者フォローアップ研修(講師:西浦加代子氏)
研修担当者スーパービジョン16名(講師:西浦加代子氏)
事例検討研修・フリーダイヤル研修開催
相談員のケア・資料・統計資料の作成

(7) 広報委員会

広報誌「いのちの電話・ちば」第63号 6/10 発行 2,000部
「いのちの電話・ちば」第64号 11/20 発行 2,000部
各行事の際の録音・記録・取材

(8) 事業委員会

チャリティーコンサート 協力 (6/26)
2016年チャリティー寄席 協力 (11/20)

(9) 相談委員会

役員会・委員会の開催 (毎月第3日曜)
相談活動の活性化
学習会・懇親会「千葉市こころのセンター事業内容について」千葉 茂氏 (8/21)
情報の共有 危機管理の徹底 (備品整備・館内用SOSベル)
局外活動 (千葉市ボランティア連絡協議会 会議・総会・健康づくりフェスティバル参加
市民活動センターフェスティバル)

(10) 自死遺族支援事業委員会

わかちあいの会・茶話会の実施
フォローアップ研修
公開講演会の開催
連盟 合同研修会 担当
三つ折りリーフレットの作成
地域新聞掲載

(11) 対面相談事業委員会

対面相談実施 (印旛合同庁舎・自死遺族個人対面相談)
養成研修・フォローアップ研修・健康づくりフェスティバル参加
地域新聞掲載

(12) インターネット相談事業委員会

インターネット相談実施
養成研修・フォローアップ研修
三つ折りリーフレットの作成

(13) フリーダイヤルプロジェクト

厚生労働省補助事業について役割分担して実施
研修会 (10/30)
JR東日本協力により、千葉駅前広報活動 (9/9)
公開講演会の開催 (1/29)

(14) OB会

毎月1回定例会
クリスマス会の開催

(15) 事務局

事業計画の円滑な推進に協力・千葉市・関係機関との連携・諸会議出席
連盟会議出席
ハウレンソウ編集・作成



フリーダイヤル千葉駅

6. 他機関との連携

(1) 一般社団法人日本ののちの電話連盟

- ◇ 第44回定期総会に出席
- ◇ 事務局長会議に出席(岡山) (5/27・28)
- ◇ いのちの電話相談員全国研修会奈良大会に参加(9/15~17)
- ◇ 日本自殺予防シンポジウム(東京)に参加(5/21)
- ◇ 自死遺族支援合同研修(東京)に参加 千葉センター担当(12/22)
- ◇ 関東甲信越ブロック会議(埼玉)に参加(9/2)
- ◇ フリーダイヤル相談事業委員会に参加
- ◇ JR東日本いのちのホットラインに参加(3/19・20)
- ◇ フリーダイヤル「自殺予防いのちの電話」に参加
毎月10日 0120-783-556(後援:厚生労働省)
- ◇ 「いのちの電話 ナビダイヤル」に参加 0570-783-556

(2) 千葉県諸機関との連携

- ◇ 自殺対策支援連絡協議会のメンバーとして会議に出席
(千葉県・千葉市・浦安市・柏市・船橋市・市川市)
- ◇ 千葉県精神保健福祉協議会にメンバーとして参加
(心のふれあいフェスティバル5/11・心の健康フェア2016 in千葉 11/25)
- ◇ 千葉県精神保健福祉センター(電話相談に関する情報交換会)に参加(3/15)
- ◇ 千葉県安全安心まちづくり推進協議会に出席
- ◇ 講師派遣(睦沢町・栄町・神崎町・横芝光町・ふなばし市民中学校)
- ◇ 八千代市健康まちづくりプラン推進評価委員会に参加
- ◇ 千葉市ボランティア連絡協議会の関連行事に参加
- ◇ 千葉市社会福祉協議会の関連行事に参加
- ◇ 千葉市保健医療事業団の健康づくりフェスティバルに参加(10/15)

長い間、千葉いのちの電話にご協力いただきました。

謹んで、ご冥福をお祈り申し上げます。

千葉県いのちの電話協会 理事 安田 純代 様
大澤 清美 様

平成28年度(2016年度)決算報告

1. 一般会計

■ 貸借対照表 (平成29年3月31日現在)

(単位：円)

| 資 産 の 部 | | 負 債 の 部 | |
|----------|-------------|--------------|-------------|
| 勘定科目 | 当年度末 | 勘定科目 | 当年度末 |
| 流動資産 | 21,708,926 | 流動負債 | 27,086 |
| 現金 | 2,823 | 事業未払金 | |
| 普通預金 | 19,773,341 | 預り金 | 26,546 |
| 事業未収金 | 1,920,000 | 職員預り金 | 540 |
| | 6,660 | 負債の部合計 | 27,086 |
| | 6,102 | 純 資 産 の 部 | |
| 固定資産 | 153,649,703 | 基本金 | 145,812,651 |
| 基本財産 | 127,454,637 | 国庫補助金等特別積立金 | |
| 土地 | 59,500,000 | その他の積立金 | 25,000,000 |
| 建物 | 67,954,637 | 修繕積立金 | 23,000,000 |
| その他の固定資産 | 26,195,066 | 備品等購入積立金 | 2,000,000 |
| 構築物 | 7,350 | 次期繰越活動増減差額 | 4,518,892 |
| 器具及び備品 | 496,094 | (うち当期活動収支差額) | 369,925 |
| 電話加入権 | 536,372 | | |
| ソフトウェア | 155,250 | | |
| 修繕積立預金 | 23,000,000 | | |
| 備品等購入積立金 | 2,000,000 | | |
| | | 純資産の部合計 | 175,331,543 |
| 資産の部合計 | 175,358,629 | 負債及び純資産の部合計 | 175,358,629 |

■ 資金収支計算書 (平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(単位：円)

| | 科 目 | 予 算 | 決 算 | 差 異 |
|-------------|--------------|-------------|-------------|-------------|
| 事業活動による収支 | 相談事業収入 | 11,678,000 | 11,648,878 | 29,122 |
| | 経常経費寄附金収入 | 6,200,000 | 9,390,662 | △ 3,190,662 |
| | 受取利息配当金収入 | 5,000 | 3,596 | 1,404 |
| | その他の収入 | 1,835,000 | 1,402,501 | 432,499 |
| | 収入計 | 19,718,000 | 22,445,637 | △ 2,727,637 |
| | 人件費支出 | 7,274,000 | 7,345,969 | △ 71,969 |
| | 事務費支出 | 10,952,000 | 10,327,206 | 624,794 |
| | その他の支出 | 0 | 0 | 0 |
| | 支出計 | 18,226,000 | 17,673,175 | 552,825 |
| | 事業活動資金収支差額 | 1,492,000 | 4,772,462 | △ 3,280,462 |
| 施設整備等による収支 | 施設整備等収入 | 0 | 0 | 0 |
| | 施設整備等支出 | 1,200,000 | 0 | 1,200,000 |
| | 施設整備等資金収支差額 | △ 1,200,000 | 0 | △ 1,200,000 |
| その他の活動による収支 | その他の活動収入 | 0 | 0 | 0 |
| | 修繕積立預金支出 | 1,000,000 | 1,000,000 | 0 |
| | その他の活動資金収支差額 | △ 1,000,000 | △ 1,000,000 | 0 |
| | 予 備 費 | 292,000 | - | 292,000 |
| | 当期資金収支差額合計 | △ 1,000,000 | 3,772,462 | △ 4,772,462 |
| | 前期末支払資金残高 | 17,909,378 | 17,909,378 | 0 |
| | 当期末支払資金残高 | 16,909,378 | 21,681,840 | △ 4,772,462 |

監査報告書

社会福祉法人千葉いのちの電話
理事長 友田直人様

平成29年5月2日

監事 大森 薫 ⑩

監事 栢本 守次 ⑩

私たち監事は、平成28年4月1日から平成29年3月31日までの平成28年度の理事の職務の執行について監査を行いました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1. 監査の方法およびその内容

各監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法により、当該会計年度に係る事業報告等（事業報告及びその付属明細書）について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該会計年度に係る計算関係書類（計算書類及びその付属明細書）及び財産目録について検討いたしました。

2. 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

事業報告等は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。

理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算関係書類及び財産目録の監査結果

計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純財産の増減の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

■ 平成28年度補助金等内訳

(単位：円)

| | | | |
|------------|-----------|----------|-----------|
| 千葉県 | 1,210,000 | 自死遺族支援事業 | |
| 千葉県 | 420,000 | 千葉県受託事業 | 1,748,000 |
| 千葉市 | 500,000 | 柏市 | 300,000 |
| 千葉県共同募金会 | 434,000 | 千葉市 | 92,664 |
| 千葉市社会福祉協議会 | 20,000 | | |
| | | | |

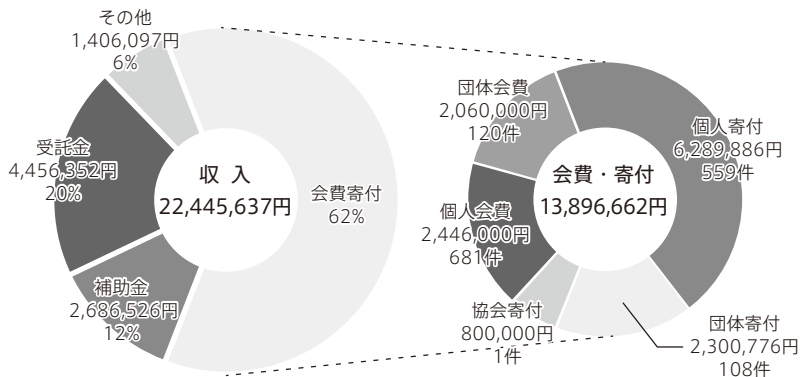
■ 後援団体寄付金

(単位：円)

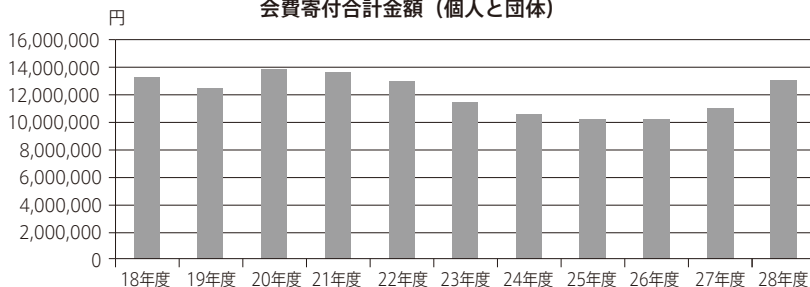
| | |
|-------------|---------|
| 千葉県いのちの電話協会 | 800,000 |
|-------------|---------|

財務報告

平成28年度収入の内訳



会費寄付合計金額 (個人と団体)



平成28年度の収入は22,445,637円。このうち、会費寄付が62%で昨年より7%増えている。補助金及び受託金収入の合計は32%で、その他6%の収入は受講料や施設使用料などである。会費寄付収入は7年間減少を続けてきたが、28年度は昨年に引き続き、遺産寄付があったおかげで27年度より約110万円の増加となった。

■ 大口団体寄付(年間5万円以上) ありがとうございます。 敬称略(アイウエオ順)

上野社会保険労務士事務所、(有)春日不動産、カトリック市川教会、カトリック西千葉教会、金坂医院、京葉銀行社会活動推進室、京葉銀行小さな親切運動推進本部、新千葉ロータリークラブ、(一社)生命保険協会千葉県協会、千葉県税理士会愛のボランティア会、千葉県流通商防犯協力会、(一社)千葉県労働者福祉協議会、千葉興業銀行ともしびの会、千葉市民懇話会、千葉大学医学部付属病院看護部、千葉西ロータリークラブ、千葉ロータリークラブ、東邦大学佐倉病院看護部、長谷川化学工業、連合千葉

平成29年度(2017年度)事業計画

I. 基本方針

- (1) 基本理念の再確認 善良な市民による自らの意思に因る無償の行為における自殺予防活動
- (2) 千葉いのちの電話の周知(広く県民に対する周知) ボランティアへの参加促進
- (3) 組織の点検・組織化の整備(内規・組織図) 社会的ニーズに呼应するため
- (4) 施設整備の計画化 積立金・設備メンテナンス法令に基づく整備
- (5) 財政基盤の検討と健全化

II. 具体的活動計画

(1) 基本理念の再確認

- ・自殺対策関係等各種会議への参加
- ・千葉県精神保健福祉センター・千葉市保健医療事業団・千葉市ボランティアセンター・市民活動センター等との連携

(2) 4相談事業の充実

- ・基礎力開発研修の開始
- ・研修担当者7期養成
- ・新規対応の開始・検討(対面相談当日受付、インターネット相談の返信期間短縮)
- ・自死遺族支援、他センターとの合同養成研修

(3) 千葉いのちの電話の周知、ボランティアの参加促進

- ・ホームページの更新(千葉県共同募金会助成事業)
- ・広報誌の発行・リーフレットの作成と配布
- ・ボランティア募集方法の新規開拓検討
- ・事前説明会の実施・地域新聞広報掲載、マスコミ協力依頼
- ・30期相談員の募集と養成講座の実施

(4) 組織の点検・組織化の整備

- ・各委員会活動の充実と組織の整備

(5) 施設整備の計画化

- ・建築後10年経過した諸設備の点検と保全計画の策定

| 平成29年度(2017年度) 一般会計予算書 | |
|---------------------------|------------|
| 平成29年4月1日～平成30年3月31日 | |
| 科目 | 予算額 |
| 【収入の部】 | (単位:円) |
| 会費収入 | 4,100,000 |
| 補助金収入 | 3,989,000 |
| 受託金収入 | 4,260,000 |
| 寄付金収入 | 6,000,000 |
| 雑収入 | 1,993,000 |
| 当期収入合計 | 20,342,000 |
| ※前年度繰越金 | |
| 収入合計 | 20,342,000 |
| 【支出の部】 | (単位:円) |
| 人件費支出 | 7,021,000 |
| 事務費支出 | 12,128,000 |
| 修繕積立金 | 1,000,000 |
| 予備費 | 193,000 |
| 当期支出合計 | 20,342,000 |
| 当期収支差額 | 0 |
| ※前年度繰越金 | |
| 支出合計 | 20,342,000 |

(6) 財政基盤の検討と健全化

- ・維持会費依頼・寄付依頼・新規維持会員の拡大・寄付の拡大
- ・助成金・補助金の申請

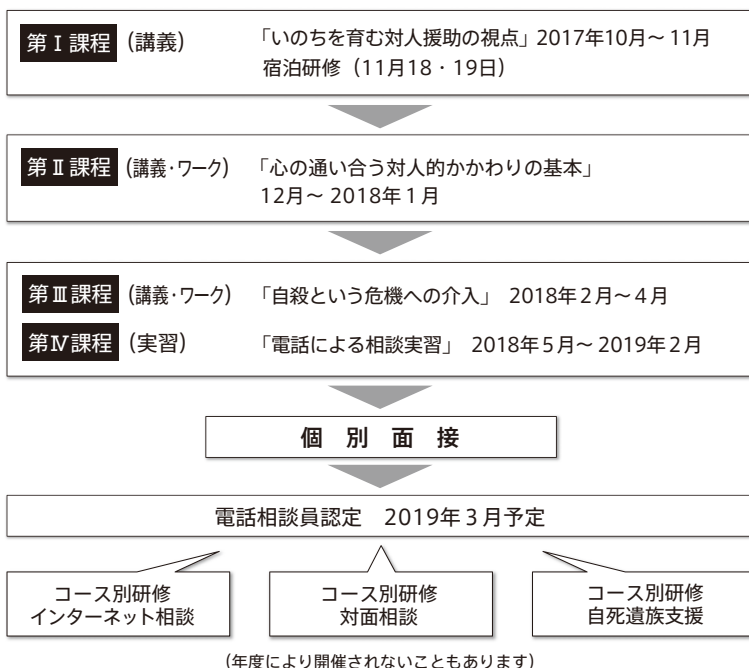
2017年度 第30期ボランティア相談員基礎研修講座の概要

4つの相談援助活動に対応できる相談員の養成を目指しています。

相談ボランティアになるには

- 年齢20歳以上（2017年4月1日現在）
- 資格・経験は不問（電話相談及び各種研修に参加できる心身ともに健康な方）
- 基礎研修講座第Ⅰ～第Ⅳの各課程を原則全出席と宿泊研修に出席できること

第30期ボランティア相談員養成講座の流れ



養成講座講師予定：勝山修一郎氏・亀井雄一氏・木村登紀子氏・窪寺俊之氏・斎藤 環氏・佐藤俊一氏
末松 渉氏、米村美奈氏、西浦加代子氏、日下忠文氏、藤井忠幸氏、永原伸彦氏

千葉いのちの電話の相談員としての適性を考慮し、各課程ごとに判定を行います。

※ 詳しくは、事務局へお問い合わせください。

千葉県いのちの電話協会

「千葉県いのちの電話協会」は社会福祉法人千葉いのちの電話の後援会です。

千葉いのちの電話の財政的支援を主として各種支援事業（活動ボランティアによる手づくり作品の販売・チャリティバザーなど）を行っており、年2回開催するコンサートは収益事業であると共に、幅広く地域の皆様に千葉いのちの電話の活動にご理解とご支援をお願いする広報活動でもあります。1990年10月の結成から26年目を迎えることができ、これまでご支援を頂いた皆様には深く感謝申し上げます。

★第14回千葉いのちの電話ふれあいチャリティコンサート

平成28年6月26日（日）千葉市文化センター アートホール
嶋崎雄斗コンサート ほら、打楽器ってこんなに面白い!!

★第25回千葉いのちの電話 2016年チャリティ寄席

平成28年11月20日（日）習志野文化ホール
鈴々舎馬風 桂米助 東京太・ゆめ子 他



2016年チャリティ寄席

★手づくり会・バザー部

手芸の好きな仲間が月に数回集まり、作品を作り、コンサート会場やバザー等で販売し、千葉いのちの電話を側面から支援しています。

★イオン社会貢献事業

幸せの黄色いレシートキャンペーン参加



幸せの黄色いレシートキャンペーン贈呈式 バザー風景

平成29年度 コンサートのご案内

- ◆ 第15回千葉いのちの電話ふれあいチャリティコンサート
6月29日（木）千葉市文化センター アートホール
田嶋陽子 ～歌とトーク～
- ◆ 第26回千葉いのちの電話 2017年チャリティコンサート
11月29日（水）習志野文化ホール
クミコ ～愛のうた～

■大口団体寄付（3万円以上）をありがとうございました。

敬称略

千葉銀行 千葉興業銀行 千葉信用金庫

小さな親切運動ちばぎん支部

社会福祉法人千葉いのちの電話 役員名簿 (敬称略)

平成29年7月1日

顧問

| | | | |
|---------|-------------------|-------|---------|
| 佐藤 甫 夫 | 元千葉大学医学部 教授 | 磯岡 哲也 | 淑徳大学 学長 |
| 長谷川 匡 俊 | 学校法人大乗淑徳学園 理事長 | | |

理事長

| | |
|-------|----------------------------|
| 友田 直人 | 千葉ベタニヤホーム・ 旭ヶ丘母子ホーム 施設長 |
|-------|----------------------------|

理事

| | | | |
|-------|---------------------------|--------|--------------------------|
| 岡田 眞一 | 千葉県精神保健福祉センター センター長 | 灰谷 由利子 | 千葉いのちの電話 前事務局長 |
| 木下 宣世 | 日本基督教団西千葉教会 牧師 | 藤田 幸子 | 千葉いのちの電話 事務局長 |
| 北原 悦子 | 千葉いのちの電話ボランティア 企画調整部会長 | 松崎 泰子 | 日本社会事業大学 理事 |
| 日下 忠文 | 日下医院 院長 | 三橋 和弘 | 社会福祉法人 一粒会 監事 |
| 佐藤 俊一 | 淑徳大学 教授 | 水鳥川 洋子 | 社会福祉法人 日本いのち の電話連盟 監事 |
| | | | 千葉県若人自立支援機構 専務理事 |

監事

| | | | |
|------|-------------|-------|--------------------------|
| 大森 薫 | 大森税理士事務所 所長 | 裕本 守次 | 元千葉県民生委員児童委員 協議会 事務局長 |
|------|-------------|-------|--------------------------|

評議員

| | | | |
|--------|---|---------|--------------------------------|
| 青木 一芳 | 千葉YMCA 理事 | 鈴木 和成 | 鈴木測量株式会社 取締役社長 |
| 荒井 勢津子 | 千葉いのちの電話協会 副会長 | 鈴木 國雄 | 千葉県年金受給者協会 副会長 |
| 今井 一雄 | 今井法律事務所 弁護士 | 鈴木 光 | 日本労働組合総連合会 千葉県連合会 会長 |
| 大賀 四郎 | NPO法人千葉県精神障害者・ 家族会連合会 副理事長 | 高長谷 トミ子 | 株式会社高長谷商店 取締役 |
| 大木 三雄 | 千葉市社会福祉協議会 常務理事兼事務局長 | 津田 祐子 | NPO法人VAICコミュニ ティケア研究所 副理事長 |
| 金子 恵一 | 社会福祉法人千葉県社会 福祉協議会 事務局長 兼福祉資金部長兼運営適 正化委員会事務局長 | 長谷川 昌江 | 元千葉いのちの電話ボランティア |
| 加瀬 紘男 | 株式会社 椿森タクシー 代表取締役 | 寺口 恵子 | 公益社団法人 千葉県看護協会 常任理事 |
| 加藤 福子 | 元千葉いのちの電話ボランティア | 花崎 みさを | 養護施設 野の花の家 統括施設長 |
| 岸 憲秀 | 千葉YMCA 理事長 | 藤本 正弥 | 一般社団法人 生命保険協会 千葉県協会 事務局長 |
| 小柳 光廣 | 一般社団法人千葉県労働 者福祉協議会 常務理事 | 吉松 靖子 | 元千葉いのちの電話ボランティア |
| 斉藤 理 | 医療法人グリーンエミネンス 中村古峽記念病院 看護部長 | 渡邊 茂 | 公益財団法人千葉県保健医療 事業団 専務理事兼事務局長 |
| 佐々木 克朗 | 社会福祉法人 千葉県共同募金会 事務局長 | | |

千葉県いのちの電話協会(後援会) 役員名簿 (敬称略)

平成29年7月1日

顧問

| | | | |
|-------|----------------|------|--------------|
| 白井日出男 | 元衆議院議員 | 青柳俊一 | 千葉興業銀行 取締役頭取 |
| 飯嶋大三 | 千葉銀行 取締役専務執行役員 | 宮澤英男 | 千葉信用金庫 理事長 |
| 綿貫弘一 | 京葉銀行 相談役 | 赤田靖英 | 千葉日報社 特別顧問 |

相談役

| | | | |
|------|----------------|-------|----------|
| 阿部紘一 | 千葉県議会議員 | 佐久間隆義 | 元市原市 市長 |
| 潤間丈助 | ウルマビル株式会社代表取締役 | 堀江はつ | 元千葉県議会議員 |
| 小川善之 | 元千葉市議会議員 | 米持克彦 | 千葉市議会議員 |

名誉会長

| | |
|------|----------------------|
| 安田敬一 | 公益財団法人安田教育振興会 理事長 |
|------|----------------------|

会長

| | |
|------|-------------------------|
| 川島教昭 | 株式会社稲毛自動車教習所 代表取締役会長 |
|------|-------------------------|

副会長

| | | | |
|--------------|-------------------------------|-------|--------------|
| 鈴木和成 島田行信 | 鈴木測量株式会社 取締役社長 学校法人市川学園 理事 | 荒井勢津子 | 千葉いのちの電話 評議員 |
|--------------|-------------------------------|-------|--------------|

理事

| | | | |
|-------|--|------|---------------------------------------|
| 天野和子 | 千葉いのちの電話活動ボランティア | 徳丸伸弥 | 東日本旅客鉄道株式会社 千葉支社総務部 サービス 品質改革室長 |
| 藤宏之 | 株式会社シティハウス 代表取締役 | 豊田重俊 | 有限会社豊工業 取締役 |
| 大浦義信 | 有限会社エーデル商会 代表取締役 | 枡本正吉 | 株式会社樹住宅 代表取締役 |
| 岡田勝 | 特定非営利活動法人 地域創造 ネットワークちば 理事長 | 松原淑子 | 千葉いのちの電話活動ボランティア |
| 岡部文彦 | 新千葉法律事務所 所長 | 三浦文江 | 株式会社ベイキューブシー 代表取締役 |
| 小野成子 | 株式会社プラント東葉 代表取締役 | 水上明美 | 千葉県市若葉区原町寿クラブ 会長 |
| 影山成己 | 影山会計事務所 所長 | 本橋昭子 | 千葉いのちの電話活動ボランティア |
| 日下忠文 | 日下医院 院長 | 吉成庸子 | 作家・エッセイスト |
| 齊藤朝江子 | 千葉県いのちの電話 理事 | | |
| 重宗光子 | 有限会社エダブン 代表取締役 | | |
| 友田直人 | 千葉いのちの電話相談ボランティア 社会福祉法人千葉いのちの電話 理事長 千葉ベタニヤホーム・旭ヶ丘 母子ホーム 施設長 | | |

監事

| | |
|------|-------------|
| 大森 薫 | 大森税理士事務所 所長 |
|------|-------------|

研修専門家会

| | | | |
|-------|-----------------------------|-------|---------------------------|
| 勝山修一郎 | 千葉カウンセリングセンター センター長 | 西浦加代子 | 元ルーテル学院大学付属 PCG カウンセラー |
| 木村登紀子 | 聖路加国際大学名誉教授 桜クリニック 臨床心理士 | 藤井忠幸 | 自死遺族ケア団体全国ネット 代表 |
| 佐藤俊一 | 淑徳大学 教授 | | |

ご支援のお願い

●あなたのご支援を必要としています

千葉いのちの電話の活動は、多くの善意あるボランティアの無償の奉仕によって支えられています。24時間365日眠らぬダイヤルの維持や建物管理、研修生の訓練や相談員の継続研修、広報活動などのために、年間約2,000万円の経費が必要となっております。

現在、全国の自殺者は警察庁の発表によると平成28年は21,897人、千葉県内では1,038人になっています。「死にたい!」と訴える相談者のごころは、「生きたい!助けて!」です。その声に寄り添うために、一人でも多くの方に資金ボランティアとして千葉いのちの電話を支えてくださいますようお願い申し上げます。

●ご寄付の税額控除について

千葉いのちの電話では、平成24年10月11日から5年間税額控除が受けられるようになりました。税額控除証明書を領収書と一緒に印刷しておりますので、確定申告の際にはどうぞ活用下さい。詳細は事務局までおたずねください。

●維持会員・寄付のお願い

- ◆個人会員 年額1口 2千円(何口でも)
- ◆団体会員 年額1口 1万円(何口でも)
上記の額を毎年継続して納入して頂ける個人や団体
- ◆寄付者会員 この社会福祉法人の主旨に賛同して頂き、寄付金を納入していただける方、金額は問いません。

《お振込は下記のいずれかをご利用ください》

- ・郵便振替 / 00110-0-366563
「社会福祉法人 千葉いのちの電話」
- ・銀行振込 / 千葉銀行 県庁支店 004 (普) 2115973
京葉銀行 本店 080 (普) 8897411
千葉興業銀行 千葉支店 111 (普) 6182171
千葉信用金庫 本店 001 (普) 0580786
口座名は「社会福祉法人 千葉いのちの電話 理事長 友田直人」

社会福祉法人 千葉いのちの電話 事業案内

発行日 2017年7月1日
発行者 理事長 友田直人
事務局 〒260-0012
千葉市中央区本町3-1-16 CIDビル
TEL 043-222-4416・4322
FAX 043-227-6911
<http://www.chiba-inochi.jp>
E-mail ll-chiba@chiba-inochi.jp

エルエル



